仙人沢猿倉発電所事業性評価調査

1. 事業の目的

本計画地点では、地域特性を十分に反映した最新の基本情報が不足しており、適正な事業性評価を検討する環境下にないことから、小水力開発に必要不可欠な流量調査・地形測量・地質調査・基本設計を2年度に亘り実施し基本情報を取得し、事業性評価を行う。

2. 事業の内容

（1） 事業者名
三峰川電力株式会社

（2） 事業名
仙人沢猿倉発電所事業性評価調査

（3） 事業期間
【平成30年度】平成 30 年 11 月 16 日 ～ 平成 31 年 2 月 25 日
【平成31年度】平成 31 年 4 月 23 日 ～ 令和 2 年 2 月 25 日

（4） 調査を実施する発電設備の概要
a.発電形式 ： 水路式
b.使用水量 ： 0.39m/s
c.有効落差 ： 51.5m
d.出　　力 ： 157kW

3. 事業実施概要

【平成 30 年度】
① 流量調査
流量調査を平成 30 年 11 月～平成 31 年 1 月にかけて 6 回実施

【平成 31 年度】
① 流量調査
流量調査を令和 1 年 5 月～令和 1 年 11 月にかけて 10 回実施
② 地形測量（令和1年 6 月～令和1年 8 月）
平面測量 :3,000 ㎡
横断測量 :50m間隔で 4 箇所（測量幅 15m）
縦断測量長 :300m
③ 地質調査（令和1年 7 月～令和1年 8 月）
地表踏査 :1 式
ボーリング調査 :2 箇所
④ 基本設計（令和 1 年 8 月～令和 2 年 1 月）
流量資料整理 :1 式
土木構造物基本設計 :1 式
電気工作物基本設計 :1 式
設計図面作成 :1 式

【調査状況】

流量調査状況

地質調査状況

4. 事業の成果等

◎流量調査
・H30年度、H31年度調査により、次のとおり水位・流量データが得られた。本データは、発電規模及び発電電力量算定の基礎資料となる。

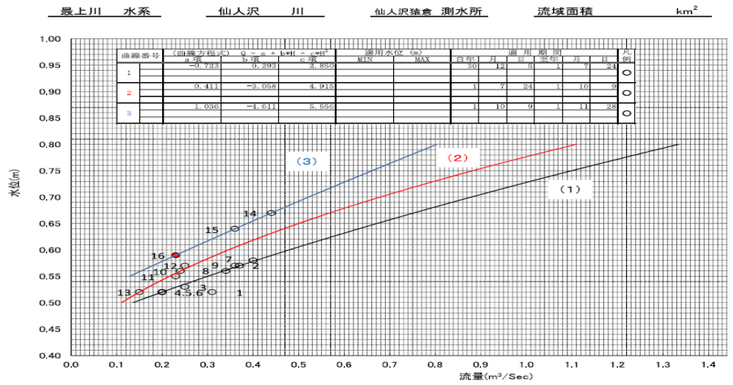
◎地形測量
・H31年度に実施した詳細な地形測量により、発電所予定地点及び取水予定地点の地形が把握でき、施設構造物を設計する際の確度の高い基礎資料を得られた。

◎地質調査
・H31年度に実施した地質調査により、発電所建屋予定地および水槽予定地の地質強度が十分なことが把握出来た。

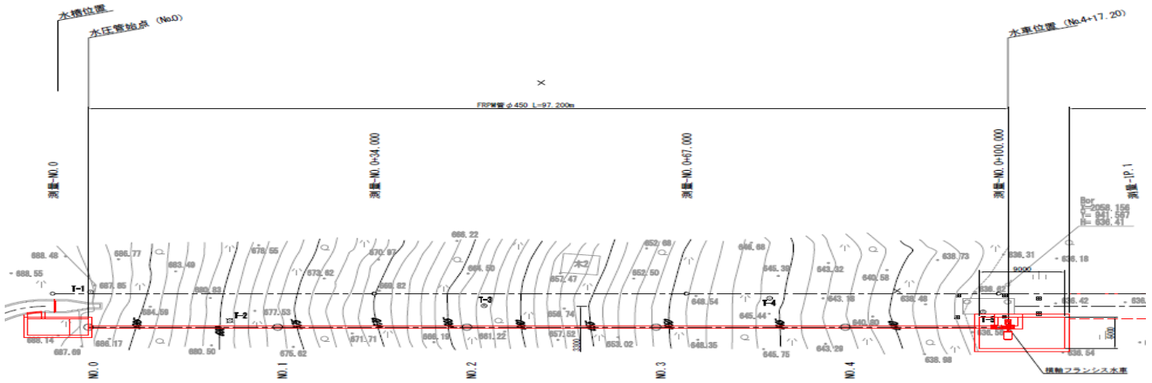
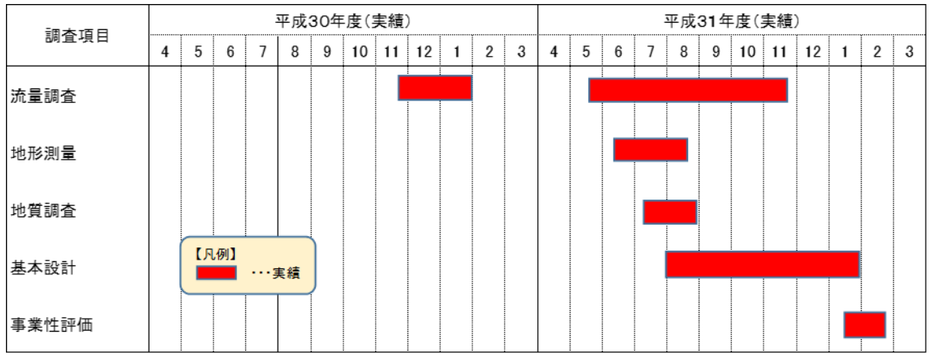
◎基本設計
・流量調査、地形測量、地質調査で取得したデータを基に、最適規模の発電計画と関連図面を得られた。

◎事業性評価
・本調査により年間を通して安定した発電が可能であることから、事業性が高いと判断した。

水 位 流 量 曲 線 図



＜猿倉発電所計画平面図＞



5. 事業スケジュール